

○第8回研修会(オンライン開催)

全体研修 授業づくり研修③

今回の研修は、授業づくり研修でした。研修のねらいは以下の2点です。

- ・個に応じた目標設定と支援を明確にした『日本語と教科の統合学習』における授業づくりを通して、教科学習において児童生徒が日本語で学ぶ力を高める日本語指導の在り方を追求する
- ・「日本語と教科の統合学習」の授業実践を通して、日本語指導における授業力向上を目指す

研修の流れは、以下の通りです。

- (1) 研修の進め方についての説明
- (2) 実践発表(ブレイクアウトルーム)
- (3) 意見交流(ブレイクアウトルーム)
- (4) 全体発表
- (5) 講評

(2) 実践発表と(3) 意見交流は、6人程度のグループに分かれて行いました。(4) 全体発表では、各グループの代表の先生が支援や話題になったことについて発表しました。(5) 講評では、顧問の先生方にご助言を頂きました。

感想

- ・言葉のカードやイラストを使った先生方の工夫を多く知ることができました。
- ・ほかの方の実践を知る良い機会でした。
- ・それぞれの先生方の実践を聞いて勉強になりました。少人数で話を聞くことができ、時間にも余裕があつてよかったです。
- ・自分の実践についてご意見を頂くことができ、よりよい授業にするためにはどうすればよかったか改めて考えることができました。
- ・先生方の素晴らしい実践を知って、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・参考にできる物ばかりでしたので、これからの実践に活かしていきます。
- ・他の先生方の実践を聞いて大変勉強になりました。授業実践と情報共有は毎年やっていた方がいいと思います。
- ・小学校での内容の積み重ねの大切さを再認識することができました。
- ・教科ごとの支援がとても参考になりました。中学校の授業実践を聞くことができ、小学校と中学校のつながりも意識したいと感じた時間でした。
- ・文型や言葉の指導には、視覚的なものが必要であること、また実際に会話したり操作したりする中で言葉や文型を入れていくことの効果を感じました。さらに、日本語指導をしていく私たちにとって文化的背景や地理的背景に配慮しながら情報を具体的に伝えていくことも重要だと感じました。今後は、「自ら学習していく力をつけていくための支援(self-help)」も念頭に支援を考えていく必要があると思います。
- ・先生方の様々な支援の工夫を教えていただき、大変勉強になりました。母語を活用した指導や、資料提示の際の工夫、等尺年表やクラゲチャートなど、今後の指導で参考にさせていただきます。